



## 2016年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2015年10月22日

上場会社名 モーニングスター株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久 TEL 03-6229-0810  
 四半期報告書提出予定日 2015年11月2日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

### 1. 2016年3月期第2四半期の連結業績 (2015年4月1日～2015年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年3月期第2四半期	2,337	21.1	760	37.5	762	35.2	502	42.0
2015年3月期第2四半期	1,930	1.5	552	11.0	563	4.0	353	11.4

(注) 包括利益 2016年3月期第2四半期 502百万円 ( 42.0 %) 2015年3月期第2四半期 353百万円 ( 6.7 %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2016年3月期第2四半期	6.17	6.16
2015年3月期第2四半期	4.30	—

2015年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2016年3月期第2四半期	8,915	8,281	92.8	101.51
2015年3月期	8,945	8,226	91.9	100.83

(参考) 自己資本 2016年3月期第2四半期 8,272百万円 2015年3月期 8,217百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2015年3月期	—	0.00	—	5.50	5.50
2016年3月期	—	0.00	—	—	—
2016年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2015年3月期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当50銭

2016年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 2016年3月期の連結業績予想(2015年4月1日～2016年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、現時点では合理的な見通しを立てることが困難なため、未定であります。



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2016年3月期 2 Q	83,973,600 株	2015年3月期	83,973,600 株
② 期末自己株式数	2016年3月期 2 Q	2,474,000 株	2015年3月期	2,479,000 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2016年3月期 2 Q	81,495,966 株	2015年3月期 2 Q	82,238,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2016年3月期の配当予想)

2016年3月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2015年10月22日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間(2015年4月1日～2015年9月30日)の連結業績は、売上高が前年同期間(2014年4月1日～2014年9月30日)の1,930百万円から406百万円(21.1%)の増収となる2,337百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期間の975百万円から218百万円(22.4%)増加し1,193百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期間の402百万円から19百万円(4.7%)減少し383百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期間の552百万円から207百万円(37.5%)の増益となる760百万円となりました。

営業外損益が、前年同期間と比べ、純額で8百万円減少した結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期間の563百万円から198百万円(35.2%)の増益となる762百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間の353百万円から148百万円(42.0%)の増益となる502百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	811,768	42.0	845,676	36.2	4.2
メディア・ソリューション	485,026	25.1	574,575	24.6	18.5
計	1,296,794	67.2	1,420,252	60.8	9.5
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	634,186	32.8	917,327	39.2	44.6
計	634,186	32.8	917,327	39.2	44.6
連結売上高	1,930,980	100.0	2,337,579	100.0	21.1

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同四半期末の13,090台から21,730台(2.7倍)増加し、34,820台となりました。それに伴い、ファンドデータの売上が増加いたしました。また、ファンレポート、マネールックの売上も増加いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同期間の811百万円から845百万円(4.2%)の増収となる845百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ広告や資産運用セミナーなどを統合的に提供するメディア・ソリューションが増加いたしました。また、ウェブ・コンサルティングの売上も増加いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同期間の485百万円から574百万円(18.5%)の増収となる574百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額が、前年同四半期末の1,208億円から466億円(38.6%)増加し1,673億円となり、それに伴い、投資委託者報酬が大幅に増加いたしました。

その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の634百万円から917百万円(44.6%)の増収となる917百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,296百万円から1,420百万円(9.5%)の増収となる1,420百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の446百万円から556百万円(24.7%)の増益となる556百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の634百万円から283百万円(44.6%)の増収となる917百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の106百万円から97百万円(90.7%)の増益となる203百万円となりました。

(4) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、8,915百万円となりました。

これは、流動資産が前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、7,438百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、主として現金及び預金が130百万円減少した一方、売掛金が128百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して85百万円減少し、634百万円となりました。

負債の減少は、買掛金が50百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に502百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、448百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が54百万円増加いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して55百万円増加し、8,281百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少し、6,512百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、110百万円増加し、328百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同期間と比べ198百万円増加した一方、法人税等の支払額が27百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、522百万円減少し、28百万円の獲得となりました。

これは、主として、前年同期間に585百万円あった定期預金の払戻による収入(純額)が59百万円に減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期間に比べ、82百万円減少し、427百万円の支出となりました。

これは、主として期末配当金の支払額が前年同期間の344百万円から、当第2四半期連結累計期間は428百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

4. 四半期連結財務諸表(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）に記載のとおりでございます。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,772,755	6,642,640
売掛金	490,004	618,340
有価証券	69,358	69,364
たな卸資産	※1 11,300	※1 1,823
繰延税金資産	29,307	22,003
その他	95,280	84,743
流動資産合計	7,468,007	7,438,915
固定資産		
有形固定資産	※2 58,910	※2 74,863
無形固定資産		
のれん	890,591	864,187
ソフトウェア	239,843	245,386
その他	45,334	53,119
無形固定資産合計	1,175,768	1,162,693
投資その他の資産		
投資有価証券	24,835	24,539
繰延税金資産	5,272	5,366
その他	212,693	209,267
投資その他の資産合計	242,801	239,173
固定資産合計	1,477,480	1,476,730
資産合計	8,945,488	8,915,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,981	30,937
未払金	272,069	273,173
未払法人税等	257,512	266,724
未払消費税等	78,365	53,674
その他	29,835	9,138
流動負債合計	718,764	633,649
固定負債		
リース債務	714	361
固定負債合計	714	361
負債合計	719,479	634,010
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,231,322	3,231,820
利益剰余金	3,298,514	3,352,805
自己株式	△428,435	△427,571
株主資本合計	8,217,022	8,272,675
新株予約権	8,987	8,960
純資産合計	8,226,009	8,281,635
負債純資産合計	8,945,488	8,915,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
売上高	1,930,980	2,337,579
売上原価	975,345	1,193,687
売上総利益	955,635	1,143,892
販売費及び一般管理費	※1 402,651	※1 383,571
営業利益	552,983	760,321
営業外収益		
受取利息	964	475
有価証券売却益	9,407	—
為替差益	547	104
外国税還付金	—	900
その他	52	678
営業外収益合計	10,971	2,158
営業外費用		
支払利息	40	26
持分法による投資損失	—	295
その他	135	1
営業外費用合計	175	322
経常利益	563,779	762,156
税金等調整前四半期純利益	563,779	762,156
法人税、住民税及び事業税	211,167	252,434
法人税等調整額	△1,358	7,210
法人税等合計	209,809	259,644
四半期純利益	353,970	502,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	353,970	502,511

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
四半期純利益	353,970	502,511
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	353,970	502,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,970	502,511
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	563,779	762,156
減価償却費	40,321	48,215
長期前払費用償却額	3,190	3,260
のれん償却額	26,357	26,403
受取利息及び受取配当金	△964	△475
支払利息	40	26
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,407	-
為替差損益 (△は益)	△374	△196
持分法による投資損益 (△は益)	-	295
売上債権の増減額 (△は増加)	△111,398	△128,336
たな卸資産の増減額 (△は増加)	796	9,278
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,063	△50,043
未払金の増減額 (△は減少)	17,496	△34,360
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38,605	△17,262
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	29,377	△44,195
小計	491,545	574,766
利息及び配当金の受取額	1,077	407
利息の支払額	△40	△26
法人税等の支払額	△274,746	△247,091
法人税等の還付額	△8	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,827	328,056
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△64,667	△200,000
定期預金の払戻による収入	650,575	259,656
有形固定資産の取得による支出	△3,440	△7,002
無形固定資産の取得による支出	△54,266	△50,310
投資有価証券の売却による収入	1,109,407	-
投資有価証券の取得による支出	△1,100,000	-
敷金及び保証金の回収による収入	12,917	28,237
敷金及び保証金の差入による支出	-	△2,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	550,526	28,465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ストックオプションの行使による収入	-	1,335
配当金の支払額	△344,835	△428,283
リース債務の返済による支出	△325	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△345,161	△427,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	374	156
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	423,567	△70,608
現金及び現金同等物の期首残高	6,001,296	6,582,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 6,424,865	※1 6,512,301

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
仕掛品	6,570千円	633千円
貯蔵品	4,729	1,189

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
	203,586千円	207,049千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
従業員給与	138,036千円	124,636千円

(四半期連結キャッシュ・フロー関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
現金及び預金勘定	6,410,059千円	6,642,640千円
有価証券	79,371	69,364
証券口座預け金(その他流動資産)	101	296
3ヶ月超の定期預金	△64,667	△200,000
現金及び現金同等物の四半期連結会計 期間末残高	6,424,865	6,512,301

(株主資本関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年9月30日)

配当金支払額

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2014年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	345,401	4.20	2014年3月31日	2014年6月3日

II 当第2四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年9月30日)

配当金支払額

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2015年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	448,220	5.50	2015年3月31日	2015年6月2日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,296,794	634,186	1,930,980	-	1,930,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,406	483	12,889	△12,889	-
計	1,309,200	634,669	1,943,870	△12,889	1,930,980
セグメント利益	446,076	106,907	552,983	-	552,983

当第2四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,420,252	917,327	2,337,579	-	2,337,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,114	-	13,114	△13,114	-
計	1,433,366	917,327	2,350,693	△13,114	2,337,579
セグメント利益	556,398	203,922	760,321	-	760,321

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する項)

(単位: 千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,943,870	2,350,693
セグメント間取引消去	△12,889	△13,114
四半期連結損益計算書の売上高	1,930,980	2,337,579

(単位: 千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	552,983	760,321
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	552,983	760,321

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4円30銭	6円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	353,970	502,511
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	353,970	502,511
普通株式の期中平均株式数(株)	82,238,400	81,495,966
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		6円16銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	—
(うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額)(千円)		—
普通株式増加数(株)		146,775株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。